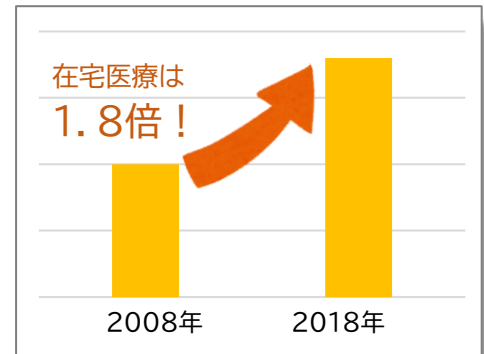


住みなれたわが家で療養したい

「在宅医療」「在宅ケア」という言葉がよく聞かれるようになりました。体の機能の低下などにより通院が難しくなった方が、病院ではなく自宅で受ける医療のことです。2008年から2018年の医療費の変化で見ると、在宅医療は10年間で1.8倍も伸びており、年々需要が高まっています。新型コロナが流行してからは入院中の面会制限などの影響もあり、この流れがさらに加速しています。



●在宅ケアを受けるメリット



家族や友人
ペットと過ごす
時間を持てる

住みなれた
環境で気兼ね
なく過ごせる

仕事や家事
趣味を少しでも
続けられる

自分らしく
過ごせる



一方で、在宅ケアを受けることには疑問や不安も多いかと思います。今回はそんな声にお答えします。

●在宅ケアQ&A

Q. 在宅で十分な医療を受けられますか？

A. 採血による検査や点滴・胃ろう栄養などを受けることができます。痛みや体のつらさを緩和する医療は在宅ケアの得意分野です。外来で治療を受けながら、在宅医療でつらい症状をコントロールしてもらうという方法もあります。



Q. 家族の負担が大きそうで心配です

A. 在宅ケアにはさまざまなサポート(訪問介護・ホームヘルパーなど)があります。ご家族の負担は確かに増えますが、サービスを上手に利用して、できるだけ周囲と協力できる体制を作ることをお勧めします。ご家族が一人で頑張りすぎない、抱え込まないことが大切です。

Q. 家で急に具合が悪くなったときは？

A. 痛みや発熱などに対応できるよう、前もって訪問医や訪問看護師が相談に乗り、必要なお薬を処方します。不安なときには医師や看護師が24時間対応で電話相談に応じており、必要な場合にはいつでも訪問します。入院治療が必要と判断されれば再度入院することも可能です。

Q. 在宅ケアはお金がかかりそう…

A. 病院で治療を受けるのと同じように、在宅ケアにも医療保険が適応されます。介護サービスには介護保険が適応され、介護用ベッドなどの設備もレンタルすることができます。一般的に、在宅は入院よりも費用が抑えられることが多いと言われています。

● 在宅ケアを希望するときは

在宅ケアのためのスタッフ体制や必要な設備・物品の準備を整えるためには、ある程度時間がかかります。早めに希望をお伝えいただくと流れがスムーズになります。

当院に入院しているときは

地域連携室の各病棟担当の退院支援看護師とソーシャルワーカー（相談員）が窓口になりますので、お問い合わせください。

そのほかにも相談できる場所があります

- 札幌市医師会 在宅医療・介護・認知症サポートセンター
0120-142-864（月～金曜日、10:00～17:00）
- お住まいの地区の地域包括支援センター
西区なら・・・ 八軒・琴似二十四軒・山の手 611-1161
西町・西野 661-3929
発寒北・発寒 671-8200

私たちは緩和ケアチームです

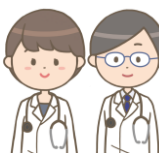
緩和ケアはがんと診断されたときから必要に応じて行われます。治療中の不調や気分の落ち込みなどの問題が患者さんの日常生活を妨げることがあります。患者さんが生活の質を維持して、自分らしい生活を送ることができるよう、さまざまな職種が協力してサポートしていきます。

緩和ケア 認定看護師



病棟看護師と協力し、苦痛症状を緩和するための専門的な知識や技術を提供します

緩和ケア担当医



身体・精神面のさまざまな症状を緩和します

薬剤師

薬剤についての提案や説明をします



がん相談支援員



治療・療養の疑問や困りごとを少しでも軽くできるよう一緒に考えます



患者さん・ご家族

医療 ソーシャルワーカー

医療費・福祉制度・在宅療養に必要な各種サービス、転院先等に関する相談に応じます



管理栄養士



病態や病状に応じた適切な栄養管理を行います

リハビリ専門職



障害の予防や緩和と能力の回復・維持を目的にリハビリを行います

心理療法士

心のつらさを抱えている患者さん・ご家族へのサポートを行います



外来診察室

緩和ケア室

4B外来奥側

EV

中庭

受付
会計

本館1階

正面入口

お気軽にご相談ください

緩和ケア室では、緩和ケア認定看護師と心理療法士が体のつらさ、心のつらさをお聞きし、緩和ケア担当医師やソーシャルワーカーなどと連携して、みなさんの生活をサポートします。

電話での相談・相談予約もできます
北海道医療センター 代表番号



011-611-8111